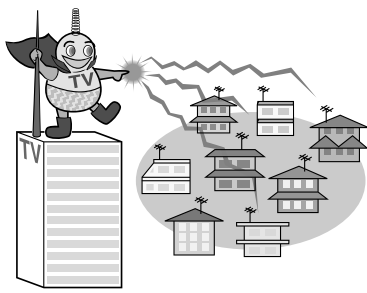


地上デジタル放送への対応

昨年12月と今年1月に、共聴施設組合の方を対象とした地上デジタル放送対応に関する説明会を各地域で開催しました。共聴施設の改修には多くの費用がかかることから、国は費用助成制度を設けています。共聴施設組合がデジタル放送受信のための施設改修を行うにあたっては、この国の制度を利用するとともに、市からも費用支援を行うことになりました。

平成20年度での費用負担内訳は次のとおりになります。

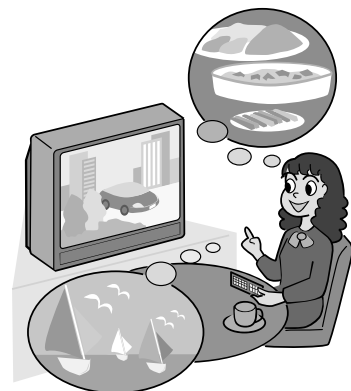
テレビ共聴施設の改修助成を 始めます



■共聴施設改修に係る事業費の内訳

| 国の補助金 | 市の補助金 | 地元負担金 |
|-----------|-------------------------|----------------|
| 対象事業費の1/2 | 対象事業費から国の補助金と地元負担金を除いた額 | 35,000円 × 受益戸数 |

※地元負担金が一戸当たり35,000円以上の場合、補助金を受けることができます。平成20年度で改修を計画している共聴施設組合は、国の費用助成を受けるため、改修費用の見積等をお願いします。老朽化した設備・幹線の改修などは対象外です。



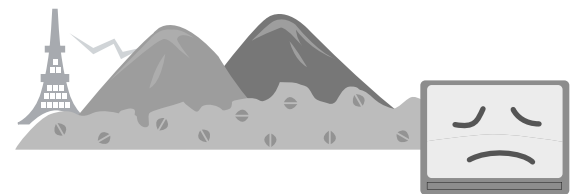
早めにチェック テレビの受信状態がよくない場合は…

現在のアナログ放送が、山かげなどにより電波が弱く、受信状態が悪いご家庭もあるのではないのでしょうか。共聴施設設置などの対策がとられていない場合には、3年後のデジタル放送完全移行時にテレビ放送が全く受信できなくなる可能性があります。

こういった地域でもデジタル放送が受信できるよう、できるだけ安価で済む対策を検討していく必要があります。

まずは、このような地域（家庭）が、

どこにどれだけあるのかを把握する必要があります。ご自分の家がこのような条件に該当しそうな場合は、政策推進課または各支所地域振興室までご連絡ください。



市は、ADSLサービスが提供されていない地域でも高速通信サービスが利用できるように、本年度、該当する10のNTT局舎全てのADSL整備を予定しています。



ADSL整備説明会（比和公民館）

このADSL整備の目的と内容を対象地域の方にご理解いただくため、2月5日から2週間にわたり市内8会場で説明会を開催し、延べ約160人の参加がありました。説明会では、ADSLとはどのようなものか、整備スケジュール、仮申し込み募集などについて説明しました。

対象地域での高速通信サービスの利用希望の把握と、1日も早いサービスの提供を民間電気通信事業者に働きかけるための資料として、仮申し込みの募集を実施。自治振興区や商工会、地元有志などいろいろな方にご協力いただいた結果、3月

21日までに届けられた仮申込書は、当初目標としていた数字を上回り1,027人になりました。ご協力いただき、ありがとうございました。

今後、整備事業者を募集し、市の助成額、サービス内容、整備スケジュールなどの内容を審査し、業者決定を行います。この決定内容、整備状況については、随時広報紙や市ホームページで皆さんにお知らせします。

※ADSLとは、電話線を使い、高速データ通信を行う技術。

平成20年度高速情報通信網（ADSL）の整備を実施します。

ADSL整備事業

仮申込者が

1000人

余りに

市民の声

東城町小奴可 吉川 遂也さん



本年度、ADSLが整備されると聞き、大変喜んでいました。地元でも「早期実現を」との思いから、自治振興区の若手为中心となり、近所に声をかけるなど仮申込書を集めて回りました。ADSLが整備されれば、新たに事業を起こす人も現れるかもしれませんし、定住促進事業と組み合わせ、ネット環境を利用したい人が移住してくるかもしれません。また、都会とのコミュニケーションにも利用できるでしょう。わたしたちの生活や地域の発展にプラスになると期待しています。



【公衆LANの接続方法が変わりました】

Windows Vistaでも利用可能に

市は、市内13施設に設置した公衆無線LANの利用拡大を図るため、Windows VistaやMacOSなどが搭載されたパソコンやニンテンドーDS・PSPといった携帯ゲーム機などでも利用ができるよう整備を行いました。パソコンで利用する場合はID・パスワードが、携帯ゲーム機で利用する場合は機器の登録が必要になります。また、すでに利用されている場合は、利用方法が変わります。詳しい内容については、市ホームページをご覧ください。